

GCMの活動報告と今後の予定

1. GCMの紹介
2. 活動報告
3. 活動予定

GCM会長 周藤安造

GCM研究会の設立趣旨

- GCM研究会は医療機関およびこれに関連する研究機関と広域的な連携をはかり、クラウドなどによる最先端技術をベースに医療情報システムICT化の研究・開発を進め、僻地まで含めた地域医療の発展と住民の健康・福祉に寄与することを目的として活動する。
- 本研究会はNPO法人広域連携医療福祉システム支援機構との連携により、その目的を達成するために次の事業を推進する。

主な事業

- (1) **研究会、フォーラム、分科会等**の学術的会合を定期的あるいは随時開催し、産学連携により地域医療や健康福祉に貢献する研究を進める。
- (2) **医療や福祉など臨床側と積極的に交流を図り**、先端ICT技術を駆使し、生活支援ロボットや広域的なヘルスケアシステムなど真に役立つ物づくりを検討する。
- (3) 機関紙「れんけい」の発行やホームページの充実を図り、会員間の交流や対外的なPRを推進する。
- (4) その他GCM発足の趣旨・目的を達成するために必要な事業に取り組む。

26年度の活動報告

(1) GCM12の開催

2015年4月24日(木)開催

テーマ「25年問題に向けた医療・福祉・介護」

実行委員長 東海大学医学部 柴田健雄氏

教育講演「訪問看護の現状と今後の課題」つるかめ訪問看護ステーション和田洋子氏

産学交流セッション：4件

東海大学医学部附属病院見学 シンポジウム「25年問題に向けた医療・福祉・介護—現状と課題」で構成

(2) 第3回交流フォーラムの開催

2015年11月4日開催

世話役：NPO副理事長 渡辺貞一氏

テーマを「在宅医療・介護とウエア生活支援ロボット」とし産学官で交流を図った。セッションはウエアラブル端末の開発、生活支援ロボットの開発とし、最後に臨床現場との意見交換会を行った。

27年度（前半）の活動報告

（１）ロボット勉強会の立ち上げ

2016年2月22日に準備会を立ち上げ、4月26日に初回勉強会を開催した。メンバーは16名。25年問題に向け特徴ある生活支援ロボットなどの開発に取り組む。

（２）機関紙「れんけい」2号の発行

2016年5月14日（土）に印刷完成でNPO会員に優先的に配布。

27年度（後半）の活動予定

（１）GCM13の開催

沖 眞実行委員長（東海大学）

（２）第4回交流フォーラムの開催

28年秋季開催予定

（３）ロボット勉強会の開催

NPOとの連携強化

分科会やプロジェクトの設立も検討

（４）PR活動

ホームページの一層の充実や機関紙の継続発行など対外PRに努める